

留 学 報 告 書

記入日:2018年1月9日

所属学部／研究科・学科／専攻	国際日本学部・国際日本学科
留学先国	アメリカ合衆国
留学先高等教育機関名 (和文及び現地言語)	和文: ネブラスカ大学オマハ校 現地言語: University of Nebraska Omaha
留学期間	2017年8月～2017年12月
留学した時の学年	3年生(渡航した時の学年)
留学先での学年	3年生(留学先大学で在籍した学年)
留学先での所属学部等	<input checked="" type="checkbox"/> 特定の学部等に所属しなかった。
帰国年月日	年 月 日
明治大学卒業予定年	2019年3月
留 学 先 大 学 について	
形態	<input type="checkbox"/> 国立 <input type="checkbox"/> 公立 <input type="checkbox"/> 私立 <input checked="" type="checkbox"/> その他
学年暦	1 学期:8月中旬～12月中旬 2 学期:1月上旬～5月上旬 3 学期: (記入例/1学期:4月上旬～7月下旬, 2学期:9月中旬～2月上旬)
学生数	15,000名
創立年	1908年

留学費用項目	現地通貨 (USD)	円	備考
授業料	0	0円	
宿舍費	3,400	360000円	
食費	1800	200000円	
図書費	300	32000円	
学用品費		円	
教養娯楽費		円	
被服費	300	32000円	
医療費		円	
保険費	840	90000円	形態:大学指定
渡航旅費	2300	245000円	
雑費	300	32000円	
その他		円	
その他		円	
その他		円	
合計	9240	991000円	

渡航関連

渡航経路:(往復路)羽田空港-ミネアポリス・セントポール空港-エプリーエアフィールド

渡航費用

チケットの種類 エコノミー

往路 _____

復路 _____

合計 242,520

渡航に際して利用した旅行会社やガイドブックを教えてください。

STAトラベル

滞在形態関連

1)種類(留学中の滞在先)(例:アパート、大学の宿舎など)

大学内の寮

2)部屋の形態

個室 OR 相部屋(同居人数 3)

3)住居を探した方法:

ネブラスカ大学オマハ校の公式ホームページより

4)感想:(滞在先の感想とこれから留学する人のためのアドバイス)

寮は大学が運営管理をしているため生活に必要なものはほとんどそろっていて便利です。ルームメートをきっかけとして友人関係を築けたので ON CAMPUS で生活することをおすすめします。

現地情報

1)現地で病院にかかったことはありますか? 大学内の医務室/診療所や付属病院等で医療サービスを受けることは可能でしたか?

利用する機会が無かった

利用した:

2)学内外で問題があったときには誰に相談しましたか。留学先大学に相談窓口はありましたか。

友達に相談しました。窓口もありましたが、特に利用しませんでした。

3)現地の危険地域情報をどのように収集し、どのような防犯対策をしましたか。また、実際に盗難等を含む犯罪に巻き込まれたことはありますか? その際どのように対処しましたか?

外務省のメール配信を利用していました。実際、とても安全な場所だったので、犯罪に巻き込まれることはありませんでした。

4)パソコン、携帯電話、インターネット(接続について)現地での利用はいかがでしたか。

(例:寮のインターネット接続が不安定で1週間に1度は全く繋がらない時がある。街にあるほとんどのカフェでは WIFI 接続が可能だったので、寮で使用できない時はカフェに行った。)

大学内では Wi-Fi の接続環境が整っているため、基本的にはどこからでもインターネット接続は可能です。しかし、学外での Wifi のないところでの連絡に多少不便は感じたため、SIM フリーの携帯を購入するなどしたほうが良いかと思えます。

5)現地での資金調達はどのように行いましたか?(例:現地に銀行口座を開設して日本の親から送金してもらった。銀行口座は現地で外国人登録をしないと開設できない。また、クレジットカードも併用していた。)

主にキャッシュパスポートで決済をしていたので、ほぼ現金は使用しませんでした。銀行の口座も開設する必要はないかと思えます。

6)現地では調達できない日本から持っていきべき物があれば教えてください。

基本的に何でも手に入りますが、枕や布団、ハンガーを現地で購入することになってしまい非常に後悔したため、スーツケース2個持ちで持ってくるのがいいかと思えます。

7)【授業料負担型の方】授業料の支払方法、支払時期等について教えてください。(例:渡航前に自分で指定したクレジットカードで支払った、現地で開設した銀行のチェックで支払った、渡航前に留学先大学から指示があった、渡航後のオリエンテーションで支払いに関する案内があった等)

卒業後の進路について

1) 進路
<input checked="" type="checkbox"/> 就職 <input type="checkbox"/> 進学 <input type="checkbox"/> 未定 <input type="checkbox"/> その他:
2)進路決定の際に参考にした資料、図書、機関など
3)就職を選択した方は、差し支えなければ内定先を教えてください。また、その企業を選んだ理由も教えてください。(内定を得た企業すべての名前、或は入社すると決定した企業の名前のみでも構いません) ※1～3年生で、就職活動をこれから始める場合は、差し支えなければ現時点で希望する業界、職種等を教えてください。
4)就職活動中・終了に関わらず、就職活動について感想・アドバイスをお願いします。 (例:留学中の就職活動へ向けた準備、帰国後に就職活動を始めるにあたり注意すること等。就職活動を不安に思い、留学を断念する方もいます。ご自身の経験を踏まえてアドバイスをお願いします。) ※1～3年生で、就職活動をこれから始める場合は、留学経験を通して就職活動に対する意識や希望する就職先の変化等を教えてください。 私は留学中に友人をきっかけにポスطنキャリアフォーラムの存在を知り、慌てて準備をしました。3年生で留学される方は、事前にアメリカでどのような就活の仕方が可能かリサーチすることをお勧めします。
5)進学を選択した方は、差し支えなければ進学先を教えてください。
6)進学を志す留学希望者に向けたアドバイス(準備、試験対策等)をお願いします。
7) その他を選択した方は、留学希望者に向けたアドバイスをお願いします。

学習・研究活動についてのレポート(履修した科目ごとに記入してください)

1)留学先で取得した単位数合計	本学で認定された単位数合計 ※該当項目にチェックのうえ、記入して下さい。
3 単位	<input type="checkbox"/> 単位 <input type="checkbox"/> 単位認定の申請はしません(理由:)
2)以下は留学先で履修した科目についてのレポートです。今後留学をする人たちへのアドバイスも含めてお書き下さい。記入スペースが足りない場合は、A4 用紙で別途作成し、添付してください。	
履修した授業科目名(留学先大学言語):	履修した授業科目名(日本語):
INTRO TO JOUR AND MEDIA COMM	ジャーナリズム・メディアコミュニケーション入門
科目設置学部・研究科	Communication, Fine Arts & Media
履修期間	2017年8月→2月
単位数	3 単位
本学での単位認定状況	単位認定(本学で認定された単位数を書いて下さい)
授業形態	講義(チュートリアル, 講義形式等)
授業時間数	1週間に75分が2回
担当教授	Roma Subramanian
授業内容	アメリカにおけるジャーナリズムの基本的な概念や仕組みを学ぶ授業です。雑誌や本、テレビからメディアの法律まで幅広く学びます。たまにメディアに精通するゲストスピーカーが来て講義やパネルディスカッションをしてくださる機会もありました。
試験・課題など	学期内に試験が4つ、Critical Essay が3ページのものが1回、Group Video Project が1回ありました。
感想を自由記入	授業前に各チャプターの教科書を読んで大事なところをノートにまとめれば、授業は理解できました。テストも全てオンラインの選択問題・持ち込み可だったので、比較的楽な授業でした。

履修した授業科目名(留学先大学言語):	履修した授業科目名(日本語):
Photography	フォトグラフィー
科目設置学部・研究科	Communication, Fine Arts & Media
履修期間	2017年8月→2月
単位数	3
本学での単位認定状況	単位認定(本学で認定された単位数を書いて下さい)
授業形態	チュートリアル(チュートリアル, 講義形式等)
授業時間数	1週間に75分が2回
担当教授	Donald Bowen
授業内容	カメラの基礎から撮影技法を学ぶ授業です。
試験・課題など	毎週与えられたテーマに沿って写真を撮ってくるのが課題なため、外出を頻繁にしてアイデアを得るようにしていました。教科書に関するクイズが2回、期末は写真を用いたストーリーテリングでした。
感想を自由記入	教室内での授業のみならず、外部の学校に足を運んでこどもたちやお年寄りの方々と交流する機会もあり、毎回新鮮な気持ちで授業に取り組めたと思います。

履修した授業科目名(留学先大学言語):	履修した授業科目名(日本語):
MUSIC OF THE PEOPLE: ROCK & POP	
科目設置学部・研究科	Communication, Fine Arts & Media
履修期間	2017年8月→2月
単位数	3
本学での単位認定状況	単位認定(本学で認定された単位数を書いて下さい)
授業形態	オンライン(チュートリアル, 講義形式等)
授業時間数	1週間に 分が 回
担当教授	Thomas Roland
授業内容	オンラインの授業です。ポップミュージックが隆盛した初期から21世紀にかけての音楽の歴史を学び、音楽と文化・政治・経済の動きとの関係を理解します。
試験・課題など	チャプターごとのクイズと学期内の4つの試験のみです。
感想を自由記入	他の授業で忙しくなるだろうと思って評判のよかった音楽の授業を取りましたが、過去に戻れるなら取りません。自分のしたい勉強や他の授業の勉強にあてる時間が増えてよかったとは思いますが、ここに来たからにはきつい授業を一つでもとっておけばよかったなと思います。オンラインはとらない方がいいです。

履修した授業科目名(留学先大学言語):	履修した授業科目名(日本語):
INTRODUCTORY SOCIOLOGY	社会学入門
科目設置学部・研究科	Arts & Science
履修期間	2017年8月→2月
単位数	3
本学での単位認定状況	単位認定(本学で認定された単位数を書いて下さい)
授業形態	講義(チュートリアル, 講義形式等)
授業時間数	1週間に75分が2回
担当教授	Abidemi Oyinlade
授業内容	社会の通念をかたち作っている基本的な概念と理論を、社会的不平等や社会制度、社会の変化を分析することを通じて学びます。
試験・課題など	チャプタークイズが4つ、試験が3つでした。課題は特にありませんでしたが、教科書を読んでこないと理論的なことは頭に入らなかったため、リーディングは必須でした。試験はオンラインの選択問題でしたが、厳しい時間制限に加えて、一度選んだ回答は次に進むと戻れないというものだったので、事前にしっかり勉強しておかないとい成績は望めませんでした。
感想を自由記入	リーディングの量が多く、授業をしっかりと理解していないと解けない試験内容だったため苦労しました。

留学に関するタイムチャート

2016年 1月～3月	
4月～7月	
8月～9月	TOEFL テスト受験(9月)
10月～12月	協定留学への出願、面接(12月) 明治大学から交換留学生として内定(12月下旬)
2017年 1月～3月	現地大学への出願(2月)
4月～7月	現地大学からの合格通知(4月) 秋学期受講授業の履修登録・入寮申請(5月) Jビザ申請の手続き開始(6月) 渡航準備の開始(7月)
8月～9月	渡航(8月) 秋学期授業開始(8月下旬)
10月～12月	中間テスト(10月中旬)、期末テスト(12月上旬)
2018年 1月～3月	帰国(1月)
4月～7月	
8月～9月	
10月～12月	

留学体験記

留学しようと決めた理由	<p>高校生の頃から海外の映画・ドラマや英語が好きだったので、その時から留学に憧れを抱いていました。また、1年次の夏休みに語学留学をした際、周りに日本人が多い環境の中、ひたすら英語を話すことに徹底するという目標を達成できず、後悔があったためそれを晴らすために留学をしたいと思うようになりました。就活が迫る不安もある一方で、学生のうちに海外に出て、そこで出会った友人と多様な価値観を共有したり、自分の視野を広げたいという思いもまだあったため、留学を決断しました。</p>
留学のためにした準備、しておけば良かったと思う準備	<p>ひとつは語学力の向上です。留学前にやっていたアルバイトが忙しかったことと、3年生になり英語の必修がなくなったことで、自分から積極的に英語に触れる機会が減り、思うように事前準備ができませんでした。そのため、最初の1、2週間は英語での意思疎通に不安がありました。留学前の期間は、どんなに忙しくても毎日なにかしらの形で英語に慣れるといいと思います。また、留学に行ってから、自分は思ってる以上に日本について知らないということも痛感したので、日本についてよく知っておけば、もっと外国人の友達との会話のネタが増えたかなと思います。</p>
この留学先を選んだ理由	<p>田舎にあるため、のびのびとした学生生活が送れること、そしてもともと自分の専攻したかった国際関係学を学べるということで、ネブラスカ大学への出願を決めました。また、英語力を向上したいというのが主な留学の目的でもあったので、なるべく日本人留学生があまりいない大学がいいと思って、調べて出てきたのがネブラスカ大学でした。(実際のところ、周りには日本人がたくさんいました)</p>
大学・学生の雰囲気	<p>とにかく広大なので全部の施設に行くことはありませんでしたが、キャンパスの各施設は設備が非常に充実していました。特に、朝から夜遅くまで開いている図書館は、個人ルームやグループで勉強するための場所、カフェテリアもあり、どこでも飲食可能でとても快適でした。異なる言語、文化、宗教を持つ学生が混在していて、毎日新鮮な気持ちでした。</p>
寮の雰囲気	<p>寮生活は初めてだったので、最初はルームメイトたちとうまくやっていたか不安でした。しかし、ルームメイトの一人が日本の文化や日本語に興味があったことをきっかけに仲良くなり、その子のおかげでたくさんの友人を作ることができました。部屋はひとり部屋だったため、一人の時間も大事にできた上、ルームメイトやその友人たちと勉強や雑談をしたり、一緒に料理を作ったりすることができる広いピングもあったため、ストレスを感じず寮生活を楽しむことができました。</p>
交友関係	<p>留学当初はわからないことも多く日本人学生と一緒に行動することも多かったのですが、これでは留学している意味がないと思い、日本人のコミュニティから少し距離を置き、日本語の授業で出会った友人やルームメイトとその友人たちと行動を共にするようにしました。最初は会話についていくのもやっとでしたが、日本や共通の趣味の話をするにつれて、距離が縮まり、ただの笑い話から互いの悩みなど深い話まで、いろんな話ができる仲になった友達ができました。</p>
困ったこと、大変だったこと	<p>困ったことは特にありませんでしたが、個人的には買い物をもっと計画的にやればよかったかなと思います。後先考えず洋服や雑貨などを買ったため、帰る際に寮から東京にある自宅へダンボールを2つも送らなければならなくなり、その配達料が非常に高くなってしまいました。計画的に買い物しておけばもっとお金をセーブできたのに…と何回も後悔しました。</p>
学習内容・勉強について	<p>授業では、発言したりディスカッションをしたりする機会が多く、他の学生の意見をたくさん聞くことができました。たまに授業内容が理解できなかったり、板書が早すぎてついていけないこともありましたが、勉強熱心な友人がまわりにおかげで、彼らに質問したり、わかりやすくまとめられたノートも見せてくれたりしたので、とても助かりました。日本で勉強をサボっていた分、ここの学生がすごく勉強熱心なのに感化され、刺激を受けることがたくさんありました。</p>

<p>課題・試験について</p>	<p>私はラッキーだったのか選んだ授業がそこまで厳しいものでもなく、試験は定期的にあったものの、日頃からこつこつ課題やリーディングに取り組んでいれば点数もついてきました。私は基本的に寮のリビングで勉強することが多かったのですが、たまに友達と図書館のグループルームでおしゃべりしながら勉強することもあると、メリハリをつけて試験勉強ができていたと思います。とはいえ、日本にいたときの試験勉強の量ではたちうちできないので、最初は苦痛に思うこともありました。</p>
<p>大学外の活動について</p>	<p>Friends of Japan というサークルに所属していました。ボランティアとしてイベントのお手伝いでソーラン節を踊ったり折り紙を教えたり、お菓子をつくって売ったりと様々な活動をしました。この活動を通して、友人をつくることができましたし、オマハが田舎でも意外と多くの人が日本に対して興味を持っていてくれるとわかり、参加してよかったなと思いました。</p> <p>また、金曜日の夜は Global Friends という English Conversation のような団体にも顔を出しました。いろんな国の人たちと交流ができて毎週新鮮な気持ちになれました。</p>
<p>留学を志す人へ 「これを知っておいて欲しい」と思うこと、アドバイス等</p>	<p>私は半ば思い切りで留学した人間なのであまりいいアドバイスはできませんが、「留学に行く」ことがゴールではないと思います。実際、留学に行っても日本人の人たちとばかり仲良くしている人も周りにはたくさんいましたが、それでは日本にいるときと何も変わりません。留学先で何を成し遂げたいのかを明確にし、留学中も自分を省みることで、より充実した留学生活を送れると思います。私は、留学先で親友と呼べるほど仲良くなったルームメイトができました。留学前は何に対しても消極的で自分にも自信がありませんでしたが、彼女や彼女をきっかけに仲良くなった友人たちに大きな影響を受け、自分の価値観や考え方も少しプラスの方向に変わった気がしています。そんな一生の宝になるような経験ができ、留学してよかったと心から思っています。迷うくらいなら挑戦したほうが絶対いいです！</p>



一週間のスケジュール(例)

	月曜日	火曜日	水曜日	木曜日	金曜日	土曜日	日曜日
午前中	起床	起床	起床	起床	起床	起床	起床
	授業	授業	授業	授業	日本語の授業のボランティア	友人と外出	友人と外出
午後	授業	授業	授業	授業	友人と外出	友人と外出	友人と外出
	課題	課題	課題	課題	友人と外出	友人と外出	友人と外出
夕刻	課題	ジム・外出 or 課題	課題	ジム・外出 or 課題	友人と外出	友人と外出	帰寮・課題
夜	帰寮	帰寮	帰寮	帰寮	友人と外出・帰寮	友人と外出・帰寮	課題

